

平成18年4月11日



news release

ポケットカード株式会社(8519) 平成18年2月期 業績の概況 2期連続の増収二桁増益、営業収益は過去最高に！

ポケットカード株式会社(8519)の平成18年2月期の業績は、景気回復に伴う個人消費の拡大や公共料金・病院など従来カードが利用できなかった分野への決済領域の拡大、与信の精緻化、ローコスト経営体制の確立などにより、営業収益358億98百万円(前期比7.0%増)、経常利益83億30百万円(同15.0%増)、純利益44億81百万円(同21.5%増)と2期連続の増収二桁増益となりました。

割賦購入あっせん部門については、公共料金などの新たなカード利用機会の拡大、伊藤忠エネクス(株)やコーナン商事(株)をはじめとする提携先企業でのカード会員の増加、データベースマーケティングを活用した効率的な販促活動など、外部環境、施策の両面で好調に推移し、取扱高は1,724億51百万円(前期比14.2%増)、割賦購入あっせん収益は39億94百万円(前期比13.9%増)と大幅に増加し、増収の牽引役となりました。

また融資部門についても、会員拡大に伴う新規利用会員の増加等により融資残高が伸長し、融資収益は294億89百万円(前期比6.5%増)となりました。

営業費用については、カード募集の好調に伴う発行費用の増加及びマイカルカードの一斉更新に伴う一時的な費用増により、前期比微増の275億67百万円(前期比4.9%増)となっておりますが、業務全般におけるローコスト化は着実に進んでおり、営業収益の伸び率に比べ営業費用の増加率は抑制されております。

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	当期純利益
平成18年2月期 通期業績	35,898	8,330	4,481
前期比	+7.0%	+15.0%	+21.5%

<平成18年2月期のトピックス>

◆「マイカルカード」から「P-one(ピーワン)カード」へ

当社は、平成17年12月末、以前の親会社である(株)マイカルとの提携関係を解消いたしました。今回の提携解消に伴い、既存のマイカルカード会員に対して、従来以上に特典・サービスを充実させ、カード業界トップクラスの特典を付与した「P-oneカード」への切替を平成17年10月より全面的に行っております。

「P-oneカード」は、以前から当社カード会員にご好評いただいております「常時1%割引特典」に加え、毎月7日のショッピング利用は通常の10倍のポイントが付与される「10倍ポイントデー」を導入し、従来以上に高いプレミアムを付加したオンリーワン・カードとなっております。カードの切替は順調に進んでおり、平成18年2月末までに約130万会員の切替を完了いたしました。

◆伊藤忠エネクス(株)、コーナン商事(株)など、伊藤忠グループ企業並びにグループ取引先との提携カードが好調！

平成16年10月、平成17年7月からそれぞれ発行を開始している伊藤忠エネクス、コーナン商事との提携カードへの申込みが、当初の予想以上に好調に推移し、平成18年2月末時点までに新規会員獲得数は17万人と13万人と会員規模を拡大しています。会員の利用頻度も高く、月間利用率や初期利用率では当社平均を大きく超える水準となっており、利用の面でも優良なカードになっています。

伊藤忠グループ企業並びにグループ取引先との提携事業は、伊藤忠エネクス、コーナン商事以外にも、インターネットショッピングサイトのマガシーク(株)との提携カード発行やファミリーマート子会社のファミマクレジット(株)との保証事業など、提携の範囲を拡大しております。今後も当社は同グループ並びにグループ取引先との共同事業展開をさらに進展させてまいります。

以上